

もっとしりたい!

いのちブックリスト②

いのちのこと

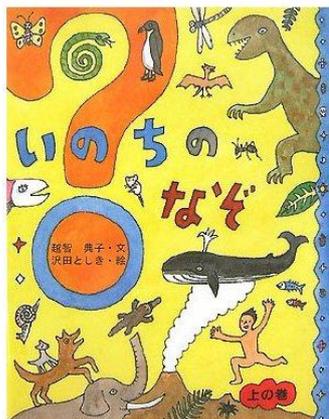
いのちは どこにあるの?

いのちは どこからきたの?

大切ないのちについて、本を通して ^{とお} 考えてみませんか。

小学4年生～

おすすめ



『いのちのなぞ』上の巻

越智 典子／文 沢田 としき／絵 朔北社（460 才）

あなたのいのちは、どこからきたの？ どうして魚は、水の中でも息が苦しくならないの？ 進化って、^{しんか} なあに？
いのちの疑問に ^{ぎもん} やさしくわかりやすく べこたえます。

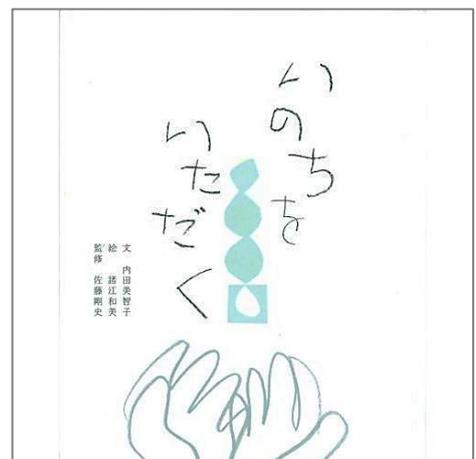
下の巻は、わたしとはなにか、食べること、生まれて死ぬことについて かかれています。

『いのちをいただく』

内田 美智子／文 佐藤 剛史／監修

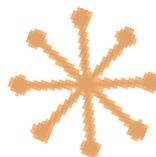
西日本新聞社（648 才）

生きることは食べること。人が生きるということは、いのちをいただくこと、^{ころ} 殺すこと。小学3年生の ^{しのぶくん} のお父さんは、^{しよくにくか こう} 食肉加工センターではたらいている。食べるお肉を作るって、どんなしごと なんだろう。
いのちの ^{い み} 意味を かんがえる。





あたらしいいのち



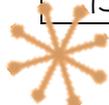
タイトル	ちよしゃめい しゅっぱんしゃ 著者名・出版社	ばしょ 場所
赤ちゃんが生まれる 幼年版 赤ちゃんは、どうやって生まれてくるの？お母さんのおなかの中では何が おこっているの？受精から出産までを わかりやすくおしえてくれる本。	コリス・タヴェルニエ/さく 杉本 充弘/かんしゅう ブロンズ新社	491 タ
みんなあかちゃんだった かっこいいサッカー選手も、大きなおすもうさんも、みんなみんな赤ちゃんだった。 お母さんのおなかから生まれてきた、赤ちゃんだったんだよ。	鈴木 まもる/作 小峰書店	ちしき絵本 49 ス
たねのはなし かしこくておしゃれでふしぎな、ちいさないのち 形や大きさはちがうけれど、どのたねも知恵やくふうにあふれた、小さいの ち。たねのふしぎがいっぱい、かかく絵本。	ダイアナ・アストン/文 シルビア・ロング/絵 ほるぷ出版	ちしき絵本 47 □
こちらたまご応答ねがいます 小学 6 年生の卓に、ある日とつぜん聞こえてきた ふしぎな声。それは、お 母さんのおなかの中の 受精卵からの交信だった！	岸 信子/作 本間 弘子/絵 ポプラ社	913 キ



生きていて、どんなこと？



タイトル	ちよしゃめい しゅっぱんしゃ 著者名・出版社	ばしょ 場所
いのちのおはなし いのちって、なんでしょう？—生きていくということです。では、生きていて って、どういうこと？いのちは、どこにある？	日野原 重明/文 村上 康成/絵 講談社	ちしき絵本 49 ム
明日もいっしょにおきようね 捨て猫、でかおのはなし ナリコさんが保健所で出会ったのは、大きなオス猫のでかお。でかおの命を すくいたくても、「処分日」はどんどん近づいてくる。本当にあったおはなし。	穴澤 賢/文 竹脇 麻衣/絵 草思社	645 ア
海のいのち もぐり漁師の父は幼い太一を残し海で命をおとした。成長した太 一が海で見つけたものとは。海の豊かさ、命の奥深さを描いた絵本。	立松 和平/作 伊勢 英子/絵 ポプラ社	にほんえほん 日本絵本イ
絵ときゾウの時間とネズミの時間 ゾウの心ぞうはゆっくり、ネズミの心ぞうは速く動く。ゾウの一生は長く、ネズミ の一生は短い。けれど実は、同じだけ生きていくんだ。いのちってふしぎ。	本川 達雄/文 あべ 弘士/絵 福音館書店	481 モ
生きもの元気 死にももの狂い いろいろな生きものたちの、強く壮絶な生きるための知恵やふしぎがいっぱ いつまった本。生きること、こどもをのこすことは、なんて大変なんだろう。	杉浦 範茂/絵 本田 暁/文 偕成社	ちしき絵本 46 ス
ヤクーバとライオン 1・勇気 / 2・信頼 アフリカ奥地の村でのこと。少年は儀式のためにライオンをたおし に行くが、出会ったライオンは傷つき、弱っていた。	ティエリー・デデュール/作 柳田 邦男/訳 講談社	がいこくえほん 外国絵本デ



ぐるぐるめぐる・つながるいのち



タイトル	ちよしゃめい しゅっぱんしゃ 著者名・出版社	ばしょ 場所
せいめいのれきし 地球上にせいめいがうまれたときからいままでのおはなし 銀河系のたんじょうから現在のひとびとの生活までを、美しい絵とリズムのある文で、たのしくわかりやすく描く。	バージニア・リー・パートン ／文・絵 いしいももこ／訳 岩波書店	ちしき絵本 46バ
ハルばあちゃんの手 うみべの小さな村に生まれたハル。ハルの手をとおして、くらしを育て、愛をはぐくみ、死をみおくる人の一生をつづる。	山中 恒／文 木下 晋／絵 福音館書店	にほんえほん 日本絵本キ
ぼっぺん先生と帰らずの沼 ウスバカゲロウをおいかけるうち、自分がそのカゲロウになってしまったぼっぺん先生。ぐるぐるまわる食物連鎖に まきこまれてしまった先生は…。	舟崎 克彦／作 岩波書店	913フ
ぶた にく 生まれるぶた。殺されるぶた。わたしたちが毎日食べているぶた。鹿児島のとんしゃ豚舎で生まれたぶたが、育ち、肉にされるまでの様子を写真でつづる。	大西 暢夫／写真・文 幻冬舎エデュケーション	ちしき絵本 64オ



いのちは どこへいくの？

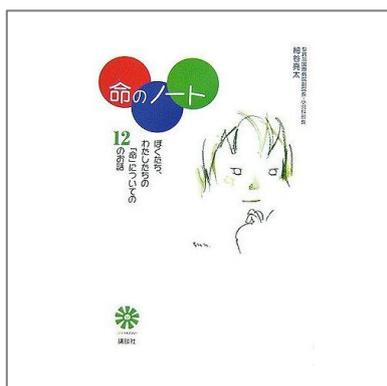
タイトル	ちよしゃめい しゅっぱんしゃ 著者名・出版社	ばしょ 場所
くまとやまねこ とつぜん、友だちのことりを亡くしてしまったくま。悲しくてとじこもってしまったくまの前に、やがてあらわれる新しい光。	湯本 香樹実／文 酒井 駒子／絵 河出書房新社	にほんえほん 日本絵本サ
さよならエルマおばあさん がんと知らされてから死にむかうおばあさんの1年間。死をみつめ死について話し合うことは、命の大切さ、生の貴重さを認識することなのです。	大塚 敦子／写真・文 小学館	490オ
葉っぱのフレディ いのちの旅 わたしたちはどこから来て、どこへ行くのだろう。生きるとは。死とは。葉っぱのフレディといっしょに 人生を考えてみませんか？	レオ・バスカーリア／作 島田 光雄／画 童話屋	933バ
夏の庭 -The Friends- 「死んだ人間を見たい」という好奇心をもった12歳の少年たち。死が近いとうわさされる老人を見はるうちに、様々な体験をする。	湯本 香樹実／作 徳間書店	913ユ
カラフル 一度死んだ「ぼく」が、人生に再挑戦できることに。だが体を間借りした14歳の真の生活は、家でも学校でも悩みと苦労だらけだった！	森 絵都／著 講談社	913モ
電池が切れるまで 入院しているとつらくて泣いてしまうこともあるけれど、友だちと遊んだり勉強したりするのはとても楽しい！こどもたちの心の声があふれる、詩と物語。	宮本 雅史／作 石井 勉／本文絵 角川学芸出版	378ミ



『命のノート』

ぼくたち、わたしたちの「命」についての12のお話』

細谷 亮太／著 講談社(490ホ)



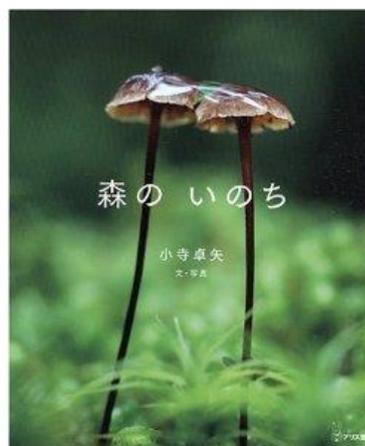
小児科医の目を通して描かれた「命」にまつわる12のお話。「命の重さ」「命の時間」「命の確率」…。重い病気にいかかってもし、一生懸命生きようとする子どもたちは、だれよりも命の大切さをしているのです。

『森のいのち』

小寺 卓矢／文・写真 アリス館(ちしき絵本 65コ)

木々は、たくさんのいのちを守り育ててゆく。そして、その役目を終えた木は、次に生まれてくる生きものたちの、新しいゆりかごになる。

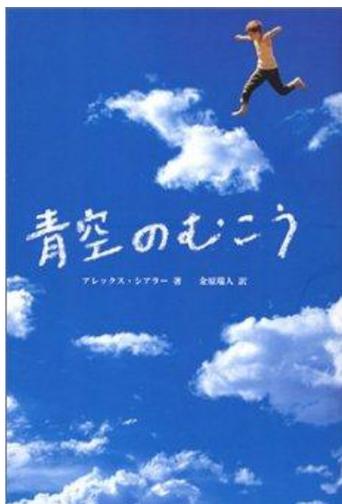
森という大きないのちをつないでゆく、いくつものいのちの息吹を感じられる 写真絵本。



『青空のむこう』

アレックス・シアラー／著 金原 瑞人／訳

求龍堂 (Y933.7シ)



事故で突然死んでしまったハリー。やりのこしたことをするために、家族や友だちに会いに戻るが、ハリーのすがたはみんなからは見えない。かけがえのない生、そして後悔しないように今を生きることの大切さを気づかせてくれる物語。

